X-MON BOX　IP アドレス・DNS サーバ設定手順

（RHEL / Rocky Linux 9・10 系）

本文書は、X-MON4 をインストールした環境にて以下の OS 設定を変更する手順です。
OS の基本的なコマンド操作についてはご理解のうえお読みください。
設定によってはネットワーク接続が全て切断されてしまうこともございますので、操作の際は十分ご注意ください。

本手順では、次の表の通り設定を変更するものとして記載いたします。
環境に応じて各パラメータを読み替えていただきますようお願いいたします。

設定	デフォルト(変更前)	変更後
IP アドレス	DHCP	192.0.2.100
プレフィックス	DHCP	/24
デフォルトゲートウェイ	DHCP	192.0.2.1
DNS サーバ 1	指定なし	192.0.2.200
DNS サーバ 2	指定なし	192.0.2.201

1、X-MON サーバにモニタとキーボードを接続(仮想環境の場合はコンソール接続)し、ログインします。

2、変更するネットワークインターフェースの名称を確認します。

```
$ nmcli device status
DEVICE   TYPE       STATE                  CONNECTION
eno1     ethernet   connected              eno1
lo       loopback   connected (externally) lo
```

「TYPE」が「ethernet」のうち「DEVICE」列の値が一番小さな行の、「DEVICE」列の値を控えておいてください。
この出力例では、「eno1」となります。

3、手動でネットワーク設定を登録します。
次のようにコマンド(1 行です)を発行します。
[構文]

```
$ sudo nmcli connection modify [DEVICE の値] ipv4.method manual ipv4.addresses [IP アドレス/プレフィックス] ipv4.gateway [デフォルトゲートウェイ] ipv4.dns [DNS サーバ 1]
```

例）

```
$ sudo nmcli connection modify eno1 ipv4.method manual ipv4.addresses
192.0.2.100/24 ipv4.gateway 192.0.2.1 ipv4.dns 192.0.2.200
```

2 つ以上の DNS サーバを指定する場合は、次のようにコマンドを発行します。

```
$ sudo nmcli connection modify eno1 +ipv4.dns 192.0.2.201
```

※DHCP 設定に戻したい場合は次のようにコマンドを発行します。

```
$ sudo nmcli connection modify eno1 ipv4.method auto
$ sudo nmcli connection modify eno1 ipv4.gateway 0.0.0.0
$ sudo nmcli connection modify eno1 -ipv4.addresses 192.0.2.100/24
$ sudo nmcli connection modify eno1 -ipv4.dns 192.0.2.200
$ sudo nmcli connection modify eno1 -ipv4.dns 192.0.2.201
```

4、変更を反映します。

次のコマンドを発行します。

```
$ sudo nmcli connection down eno1
$ sudo nmcli connection up eno1
```

5、設定が正しく反映されていることを確認します。

次のようにコマンドを発行します。

```
$ nmcli connection show eno1 |grep IP4
```

IP アドレス、プレフィックス、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバの各パラメータにて
意図した値が返ることをご確認ください。

以上で、IP アドレスの設定は完了です。

Web ブラウザで X-MON の管理画面を表示するには、 http://<設定した IP アドレス>/ を開きます。

以上